

ANAホールディングス株式会社 説明会

2026年3月期 第3四半期決算

2026年1月30日
取締役 専務執行役員
グループCFO
中堀 公博



- ① 本日はお忙しい中、ご参加いただきまして、誠にありがとうございます。
はじめに私から、第3四半期決算について、ご説明します。

1. 2025年度 第3四半期決算（概要）

第3四半期決算概要	P. 4
営業利益の水準について（補足）	P. 5
営業利益の計画差	P. 6
事業別のポイント（第3四半期）	P. 7
中国線の状況	P. 8
バランスシートマネジメント	P. 9
事業別の需要動向	P. 10

2. 2025年度 第3四半期決算（詳細）

連結決算概要	P. 12-15
航空事業	
収入・費用	P. 17
営業利益 増減要因（前年差）	P. 18
ANA国際旅客	P. 19-22
ANA国内旅客	P. 23-24
ANA国際貨物・国内貨物	P. 25-28
NCA	P. 29
Peach Aviation	P. 31-32
AirJapan	P. 33-34
ANA国際旅客 方面別（構成比）	P. 35
ANA国際貨物・NCA 方面別（構成比）	P. 36-37
燃油・為替ヘッジの進捗状況	P. 39
航空機数	P. 40
航空事業以外のセグメント	P. 41

1. 2025年度 第3四半期決算（概要）

2. 2025年度 第3四半期決算（詳細）



堅調な需要を着実に取り込み、営業利益は前年から増益

(億円)	FY24 第3四半期	FY25 第3四半期	前年差	前年比
売上高	17,027	18,773	+1,746	+10.3%
航空事業	15,517	17,076	+1,559	+10.0%
営業費用	15,316	16,966	+1,650	+10.8%
航空事業	13,803	15,337	+1,534	+11.1%
営業利益	1,711	1,807	+95	+5.6%
航空事業	1,714	1,738	+24	+1.4%
営業利益率	10.1%	9.6%	△0.4pt	-
経常利益	1,815	1,826	+10	+0.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,340	1,392	+52	+3.9%
EBITDA	2,822	3,052	+230	+8.2%

決算のポイント

1. 売上高

- ・堅調な旅客需要の取り込みやNCA連結化により、大幅増収
- ・中国政府による渡航自粛呼びかけの影響は限定的

2. 営業費用

- ・燃油費、外部委託費などが前年から増加

3. 営業利益

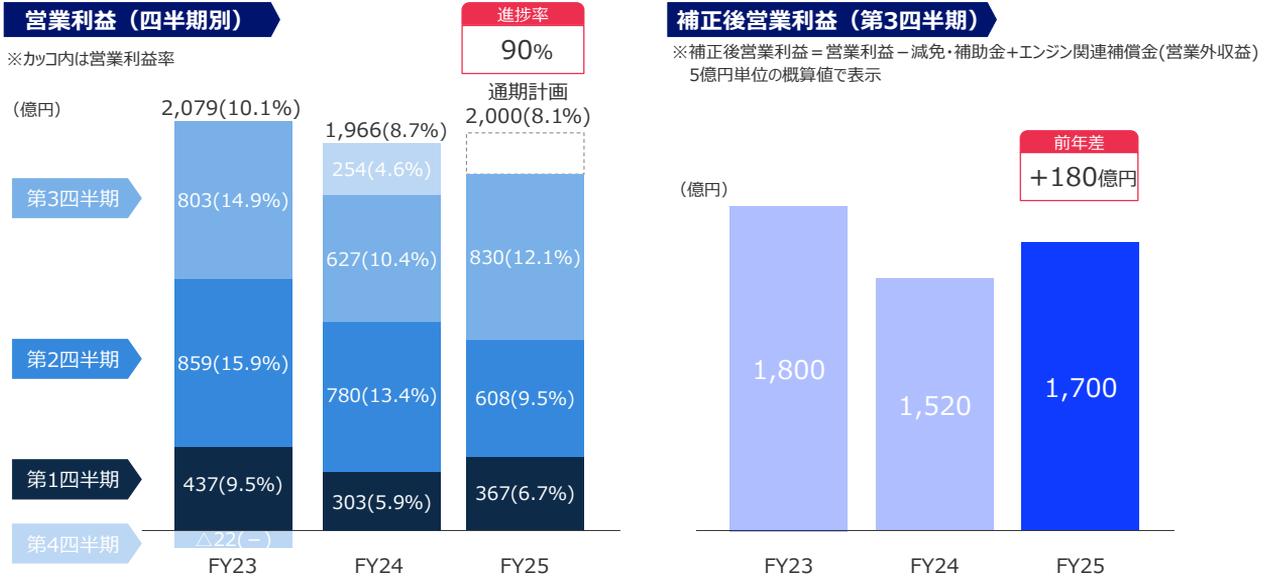
- ・過去2番目の高水準の利益を計上

燃油・為替市況

	FY24 3Q累計実績	FY25 3Q累計実績	前年比	FY25 計画前提
トバイ原油(US\$/bbl)	80.3	68.2	△15.1%	75
シンガポールケロシン(US\$/bbl)	94.4	85.4	△9.5%	90
為替(円/US\$)	152.3	148.1	△2.8%	150

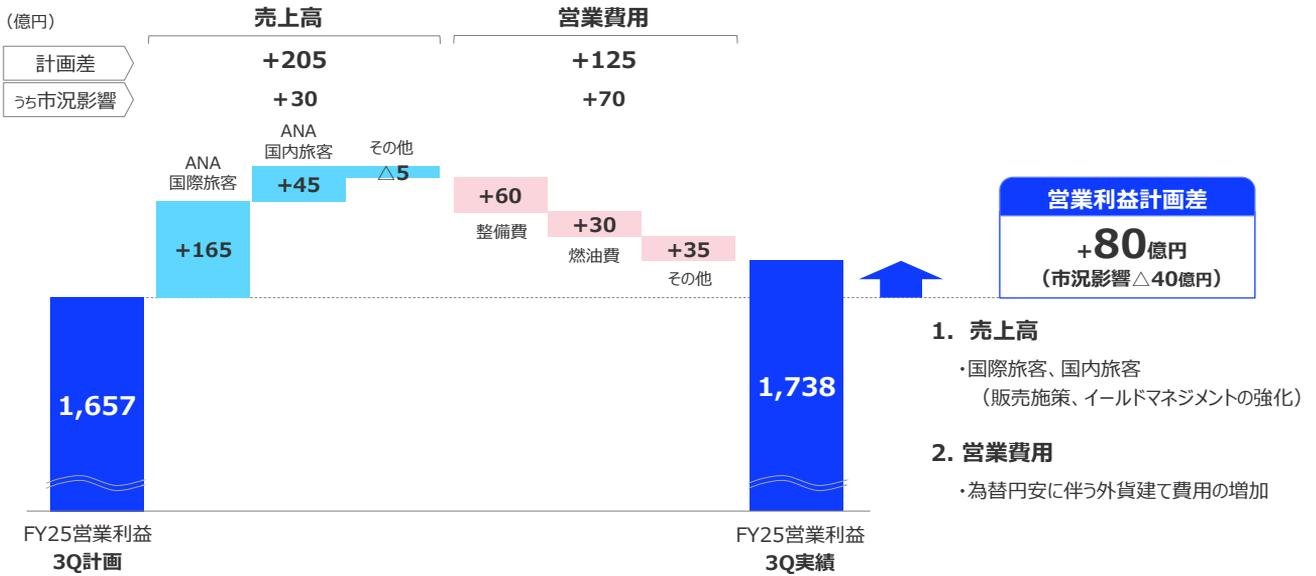
- ① まずは、第3四半期の決算概要です。
- ② **売上高**は、旅客・貨物ともに着実に需要を取り込み、1兆8,773億円となりました。
- ③ **営業費用**は、燃油費や外部委託費などが増加し、1兆6,966億円となりました。
- ④ これらの結果、**営業利益**は1,807億円となりました。
上期は減益でしたが、第3四半期で、前年から95億円の増益となりました。

第3四半期の進捗率は通期計画の9割に到達、補正後の実質的な営業利益も前年から増益に



- ① 営業利益の水準について補足します。
- ② 左のグラフは、四半期別の営業利益です。
- ③ 営業利益は、通期計画に対して、9割の進捗率となりました。
 第3四半期単独では、前年から約200億円の増益となり、過去最高となりました。
- ④ 右のグラフにお示したとおり、
 減免・補助金などの影響を調整した、補正後営業利益についても、
 前年から180億円の増益となりました。

国際・国内旅客の増収などにより、第3四半期の営業利益は80億円計画を上回る



- ① 続いて、航空事業における営業利益の計画差です。
- ② **売上高**は、ANA国際旅客と国内旅客の上振れにより、計画と比べて205億円増加しました。
- ③ **営業費用**は、円安に伴う外貨建て費用の増加などにより、計画から125億円増加しました。
- ④ これらの結果、航空事業の**営業利益**は80億円、計画を上回りました。

国際線、国内線ともに堅調な旅客需要を獲得し、売上高を拡大

事業別の対応（10～12月）		売上高 (前年比)	主な指標 (前年比)
1 ANA 国際旅客	1) 旅客数の獲得策が奏功、訪日客を中心に取り込み、旅客キロを拡大 2) 直近需要のセルアップ効果により、ユニットレベニューも前年を上回る	2,329億円 (+10.3%)	旅客キロ +14% U/R +4%
2 ANA 国内旅客	1) 秋のレジャー需要や年末需要の獲得を強化し、旅客数が増加 2) 値上げ効果も継続し、前年から単価も上昇	1,971億円 (+4.5%)	旅客数 +3% 単価 +2%
3 ANA 国際貨物	1) アジア発北米向けの三国間貨物の取り込みを強化 2) 中国発Eコマース需要の減少により、単価は前年を下回る	514億円 (△5.5%)	貨物重量 +2% 単価 △7%
4 NCA	1) 堅調なアジア=欧米間の需要を取り込み、重量を確保	498億円 (前年は連結外)	-
5 Peach	1) 国際線の需要動向をふまえた増便で、旅客数を拡大	352億円 (+10.7%)	旅客数 +6% 単価 +5%
6 AirJapan	1) 成田=シンガポール、成田=ソウル線を増便し、旅客数を拡大	40億円 (+10.1%)	旅客数 +9% 単価 +1%

©ANAHD2026

7

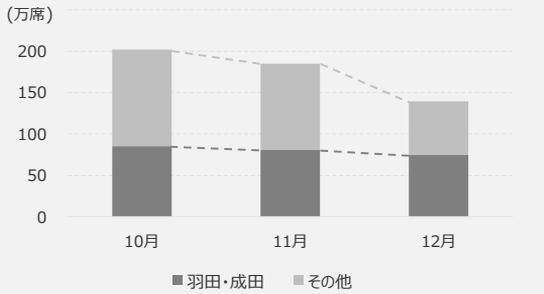
- ① 次に、航空事業の事業別の対応について、振り返ります。
- ② **ANA国際旅客**は、旅客数の獲得策が奏功し、訪日需要を中心に取り込んだ結果、旅客キロが前年から大幅に増加しました。また、早期に予約を積み上げたことで、直近需要のセルアップが進み、ユニットレベニューも前年を上回りました。
- ③ **ANA国内旅客**は、秋のレジャー需要や年末需要の獲得を強化し、旅客数が増加しました。運賃値上げの効果が継続し、単価も前年から上昇しました。
- ④ **ANA国際貨物**は、アジア発北米向けの三国間貨物の取り込み強化により、重量が増加した一方、中国発Eコマース需要の減少を受け、単価は前年を下回りました。
- ⑤ **NCA**は、堅調なアジア=欧米間の需要を確保し、着実に収益貢献しています。
- ⑥ **Peach、AirJapan**は、生産量の拡大により旅客数が増加し、増収を確保しました。

第3四半期における渡航自粛呼びかけの影響は限定的も、今後の動向には注視が必要

日本＝中国間の市場動向

1. 中国からの訪日客数は、12月にかけて大幅に減少
(前年比：10月 123%、11月 103%、12月 55%)
2. 他社供給量は、地方路線を中心に減少
3. 日本発の需要に大きな変化なし

日中路線の座席供給量（市場全体）



当社グループの状況

第3四半期

旅客数は増加

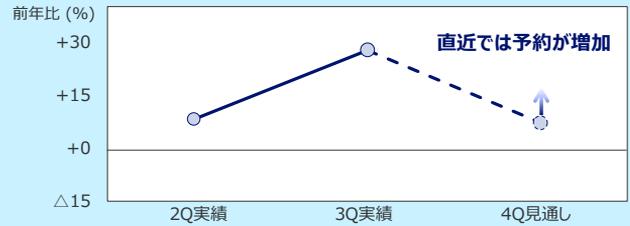
早期に予約を積み上げる販売施策が奏功

第4四半期

3Qと比べて減少も、足元では予約が増加する傾向に

今後の動向に引き続き注視が必要

中国線の旅客数(ANAブランド)

中国線
売上構成比
(3Q累計)

15%

FY18



7%

FY25

©ANAHD2026

8

- ① 中国線について補足します。
- ② 中国政府による中国国民に対する日本への渡航自粛呼びかけを受け、12月にかけて市場全体の訪日需要は大幅に減少しました。左下のグラフでお示したとおり、とりわけ中国のエアラインが地方空港路線を中心に減便した影響で、旅客数が減少しています。一方で、日本発の需要に大きな変化は見られない状況です。
- ③ 当社グループの状況として、第3四半期は、早期に予約を積み上げる販売施策が奏功し、中国線の旅客数は前年から大きく増加しました。
- ④ 第4四半期は、早期予約が減少したことで、第3四半期と比べると、旅客数前年比は低い水準となる見通しです。但し、足元では、予約が搭乗日に近づいてから増加する傾向が顕著となっており、今後の動向を注視していきます。

利益の蓄積と社債型種類株式の発行により、自己資本が増加

2025年度第3四半期末 バランスシート

※カッコ内はFY24末時点との差

総資産 3兆8,236億円 (+2,033億円)

資産		負債	
手元流動性	1兆2,299億円 (+135億円)	有利子負債	1兆1,882億円 (△1,607億円)
航空機	1兆800億円 (+1,012億円)	純資産	自己資本 1兆4,404億円 (+3,100億円)

主な変動要素
(第3四半期累計)

主な変動要素
(第3四半期累計)

設備投資 約1,880億円
(航空機以外を含む)
※FY25計画 約3,000億円

劣後ローン返済△2,000億円

利益蓄積 1,392億円
社債型種類株式 1,950億円
配当 △282億円

主な財務指標

自己資本比率
37.7%
(+6.4pt)

調整後自己資本比率*1
37.7%
(+1.0pt)

ネットD/Eレシオ
△0.03倍
(△0.15倍)

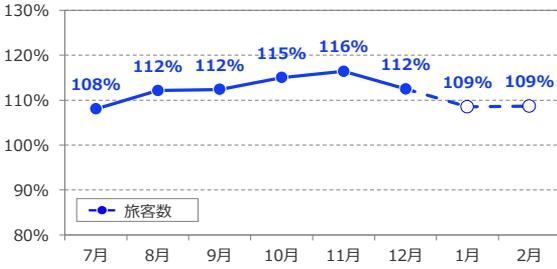
劣後ローンに係る
実質ネットD/Eレシオ
0.19倍
(△0.21倍)

*1劣後ローン、社債型種類株式の資本性認定分を考慮

- ① こちらは、バランスシートマネジメントについてです。
- ② 第3四半期の主な変動要素としては、10月末に劣後ローン2,000億円を期限前弁済したほか、社債型種類株式を発行したことで、自己資本比率が、上期末の31.4パーセントから、37.7パーセントへ大幅に上昇しました。
- ③ なお、昨年12月から、1,500億円を上限とした自己株式取得を開始しています。

1 ANA国際旅客

* グラフは全て前年同月比



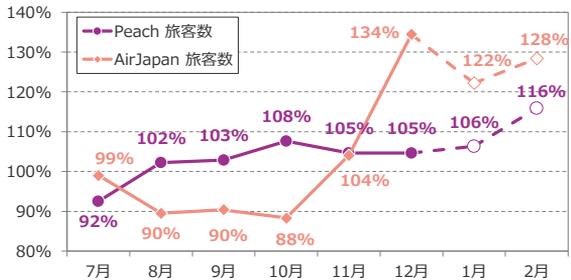
2 ANA国内旅客



3 ANA国際貨物



4 Peach・AirJapan



©ANAHD2026

- ① 最後に、事業別の需要動向についてです。
- ② **ANA国際旅客**は、2024年12月以降に欧州3路線を開設したことなどにより、第3四半期と比べると、やや落ち着いた水準で推移する見通しです。
- ③ **国内旅客**は、引き続き堅調な旅客需要が続く見込みです。
- ④ **国際貨物**は、北米線の生産量減少の影響により、前年をやや下回って推移する見通しです。
- ⑤ **Peach・AirJapan**は、旅客数は前年比で増加する見通しです。
- ⑥ 私からの説明は以上です。ご清聴ありがとうございました。

1. 2025年度 第3四半期決算

2. 2025年度 第3四半期決算（詳細）



(億円)	第3四半期累計			第3四半期		
	FY2024	FY2025	前年差	FY2024	FY2025	前年差
売上高	17,027	18,773	+ 1,746	6,031	6,869	+ 837
営業費用	15,316	16,966	+ 1,650	5,404	6,038	+ 634
営業利益	1,711	1,807	+ 95	627	830	+ 203
営業利益率 (%)	10.1	9.6	△ 0.4pt	10.4	12.1	+ 1.7pt
営業外損益	104	19	△ 85	64	43	△ 20
経常利益	1,815	1,826	+ 10	692	874	+ 182
特別損益	△ 32	108	+ 140	△ 34	6	+ 41
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,340	1,392	+ 52	532	631	+ 98

(億円)	FY2024 期末	FY2025 第3四半期末	前年度 期末差
総資産	36,202	38,236	+ 2,033
自己資本	11,303	14,404	+ 3,100
自己資本比率 (%)	31.2	37.7	+ 6.4pt
有利子負債残高	13,490	11,882	△ 1,607
D/ELレシオ (倍)	1.2	0.8	△ 0.4
手元流動性資金 *1	12,164	12,299	+ 135
純有利子負債残高 *2	1,326	△ 416	△ 1,742
ネットD/ELレシオ (倍) *3	0.1	△ 0.0	△ 0.1

*1 手元流動性資金 = 現金及び預金 + 有価証券

*2 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - 手元流動性資金

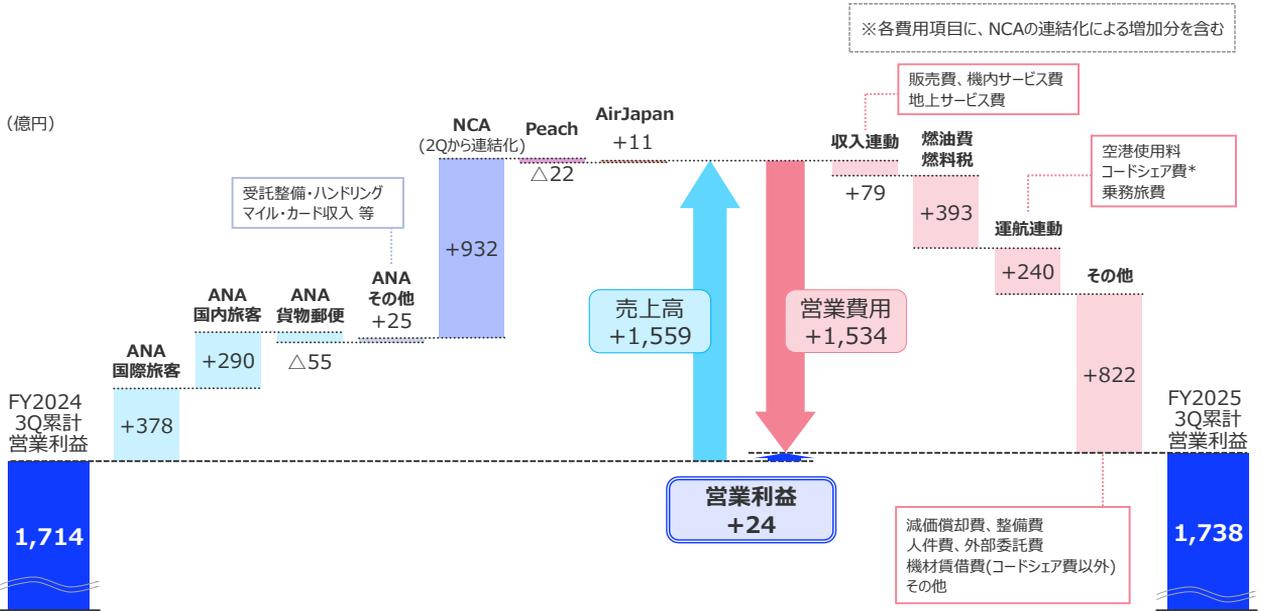
*3 ネットD/ELレシオ = 純有利子負債 ÷ 自己資本

(億円)	第3四半期累計		
	FY2024	FY2025	前年差
営業キャッシュフロー	2,631	2,882	+ 250
投資キャッシュフロー	△ 4,330	△ 3,346	+ 984
財務キャッシュフロー	△ 1,585	△ 1,039	+ 546
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,254	△ 1,478	+ 1,776
現金及び現金同等物の期首残高	10,025	8,627	} △ 1,463
現金及び現金同等物の期末残高	6,770	7,163	
減価償却費	1,110	1,245	+ 135
設備投資額 (固定資産のみ)	1,557	1,883	+ 326
実質フリーキャッシュフロー (3ヶ月超の譲渡性預金等を除く)	1,192	1,135	△ 56
EBITDA (営業利益+減価償却費)	2,822	3,052	+ 230
EBITDAマージン (%)	16.6	16.3	△ 0.3pt

(億円)	第3四半期累計			第3四半期			
	FY2024	FY2025	前年差	FY2024	FY2025	前年差	
売上高	航空事業	15,517	17,076	+ 1,559	5,506	6,257	+ 750
	航空関連事業	2,432	2,657	+ 225	858	918	+ 60
	旅行事業	549	499	△ 49	183	161	△ 21
	商社事業	975	1,174	+ 198	333	444	+ 110
	その他	321	357	+ 36	112	127	+ 14
	調整額	△ 2,767	△ 2,991	△ 223	△ 963	△ 1,039	△ 76
	合計 (連結)	17,027	18,773	+ 1,746	6,031	6,869	+ 837
営業利益	航空事業	1,714	1,738	+ 24	621	786	+ 165
	航空関連事業	37	92	+ 54	7	52	+ 45
	旅行事業	△ 1	6	+ 7	5	3	△ 1
	商社事業	39	62	+ 22	12	26	+ 13
	その他	10	20	+ 9	5	6	+ 1
	調整額	△ 89	△ 113	△ 23	△ 23	△ 44	△ 21
	合計 (連結)	1,711	1,807	+ 95	627	830	+ 203

Intentionally Left Blank

(億円)		第3四半期累計			第3四半期		
		FY2024	FY2025	前年差	FY2024	FY2025	前年差
売上高	ANA						
	国際旅客	6,012	6,390	+ 378	2,111	2,329	+ 218
	国内旅客	5,349	5,640	+ 290	1,887	1,971	+ 84
	貨物郵便	1,665	1,609	△ 55	628	596	△ 32
	その他	1,378	1,403	+ 25	523	466	△ 56
	NCA*1	-	932	+ 932	-	498	+ 498
	Peach	1,031	1,009	△ 22	318	352	+ 34
	AirJapan	79	90	+ 11	36	40	+ 3
	合計	15,517	17,076	+ 1,559	5,506	6,257	+ 750
営業費用	燃油費・燃料税	3,098	3,492	+ 393	1,037	1,259	+ 221
	空港使用料	817	924	+ 107	282	325	+ 42
	航空機材賃借費	1,139	1,266	+ 127	395	447	+ 52
	減価償却費	1,065	1,192	+ 127	359	414	+ 55
	整備部品・外注費	1,769	1,863	+ 93	739	727	△ 11
	人件費	1,720	1,842	+ 121	608	631	+ 22
	販売費	457	463	+ 5	155	161	+ 6
	外部委託費	2,158	2,431	+ 273	762	837	+ 74
	その他	1,577	1,860	+ 283	543	665	+ 121
		合計	13,803	15,337	+ 1,534	4,885	5,470
営業利益	営業利益	1,714	1,738	+ 24	621	786	+ 165

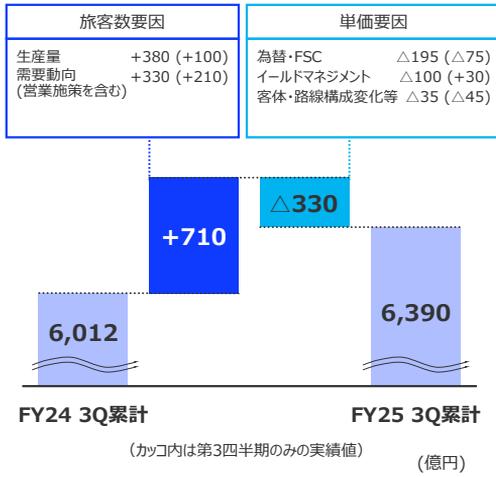


* 貨物エアラインチャーター費用を含む

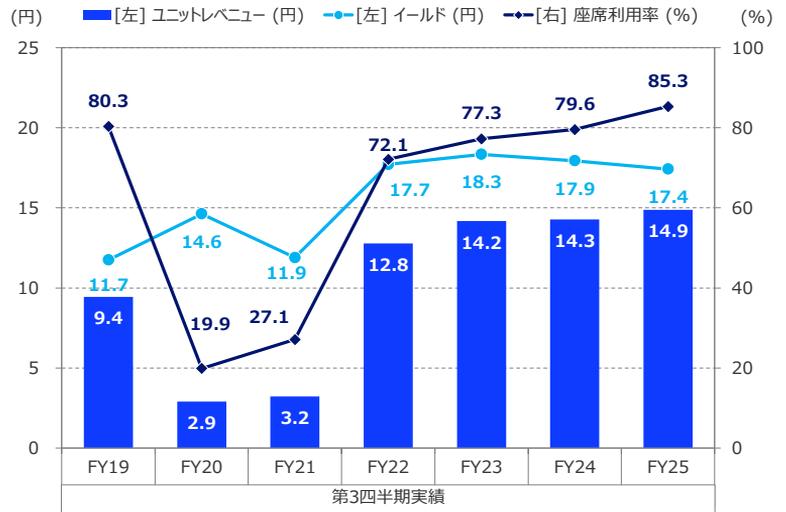
	第3四半期累計			第3四半期		
	FY2024	FY2025	前年比(%)	FY2024	FY2025	前年比(%)
座席キロ (百万)	43,051	46,216	+ 7.4	14,780	15,666	+ 6.0
旅客キロ (百万)	33,796	37,905	+ 12.2	11,764	13,369	+ 13.6
旅客数 (千人)	5,946	6,644	+ 11.7	2,047	2,346	+ 14.6
座席利用率 (%)	78.5	82.0	+3.5pt*1	79.6	85.3	+5.7pt*1
旅客収入 (億円)	6,012	6,390	+ 6.3	2,111	2,329	+ 10.3
ユニットレベニュー (円) (旅客収入/座席キロ)	14.0	13.8	△ 1.0	14.3	14.9	+ 4.1
イールド (円) (旅客収入/旅客数)	17.8	16.9	△ 5.2	17.9	17.4	△ 2.9
単価 (円) (旅客収入/旅客数)	101,116	96,183	△ 4.9	103,111	99,291	△ 3.7

*1 座席利用率のみ前年差

第3四半期累計 収入増減要因（前年差）



第3四半期（10～12月）実績推移



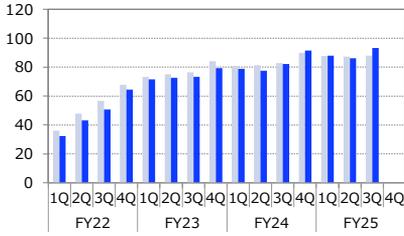
* FY19、FY20の実績は、新収益認識基準に置き換えて表示

指数：コロナ前（2019年1~12月）各四半期実績=100

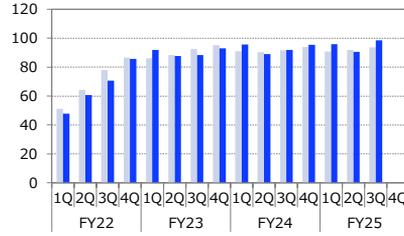
■ 座席キロ ■ 旅客キロ

* 2019年の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

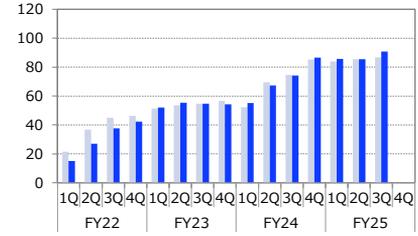
全体



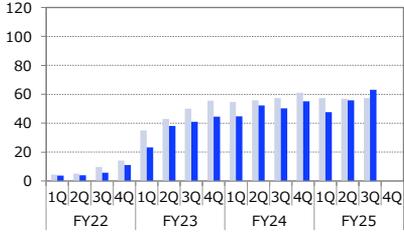
北米



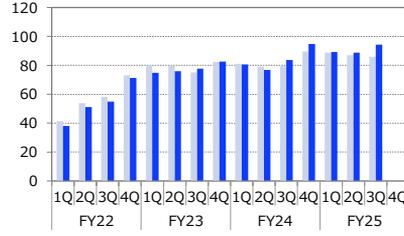
欧州



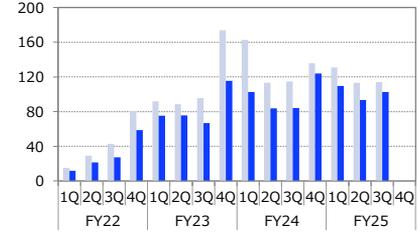
中国



アジア・オセアニア



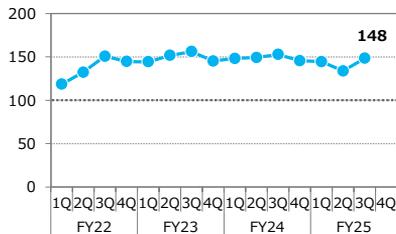
ハワイ



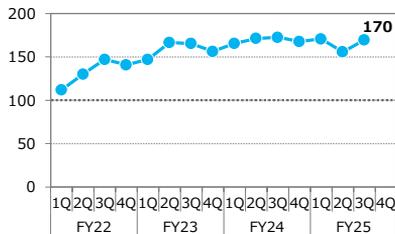
指数：コロナ前（2019年1~12月）各四半期実績=100

* 2019年の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

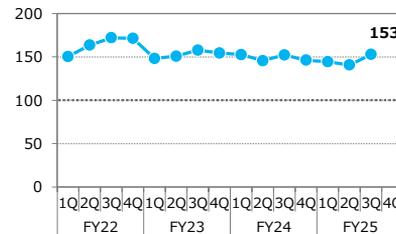
全体



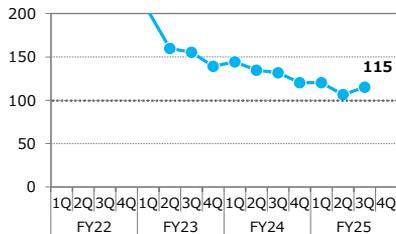
北米



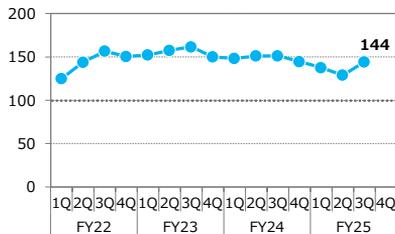
欧州



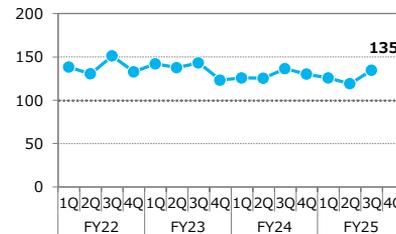
中国



アジア・オセアニア



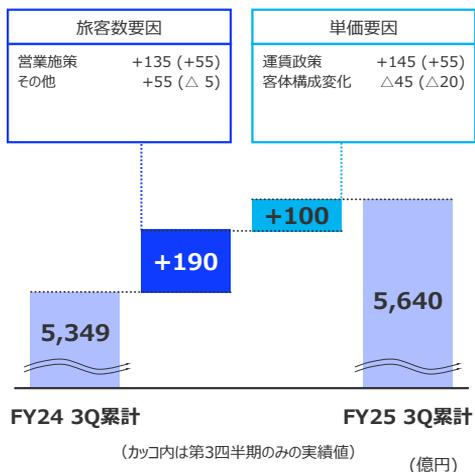
ハワイ



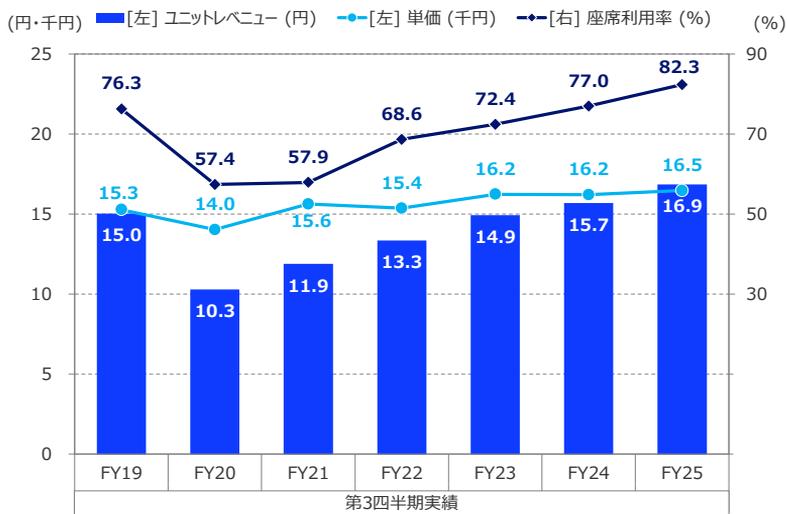
	第3四半期累計			第3四半期		
	FY2024	FY2025	前年比(%)	FY2024	FY2025	前年比(%)
座席キロ (百万)	35,421	35,148	△ 0.8	12,035	11,701	△ 2.8
旅客キロ (百万)	26,609	27,753	+ 4.3	9,262	9,634	+ 4.0
旅客数 (千人)	33,324	34,543	+ 3.7	11,645	11,976	+ 2.8
座席利用率 (%)	75.1	79.0	+3.8pt*1	77.0	82.3	+5.4pt*1
旅客収入 (億円)	5,349	5,640	+ 5.4	1,887	1,971	+ 4.5
ユニットレベニュー (円) (旅客収入/座席キロ)	15.1	16.0	+ 6.2	15.7	16.9	+ 7.5
イールド (円) (旅客収入/旅客数)	20.1	20.3	+ 1.1	20.4	20.5	+ 0.4
単価 (円) (旅客収入/旅客数)	16,053	16,328	+ 1.7	16,207	16,464	+ 1.6

*1 座席利用率のみ前年差

第3四半期累計 収入増減要因（前年差）



第3四半期（10～12月）実績推移



* FY19、FY20の実績は、新収益認識基準に置き換えて表示
 * FY23以前も区間距離の定義を大圏距離に置き換えて表示

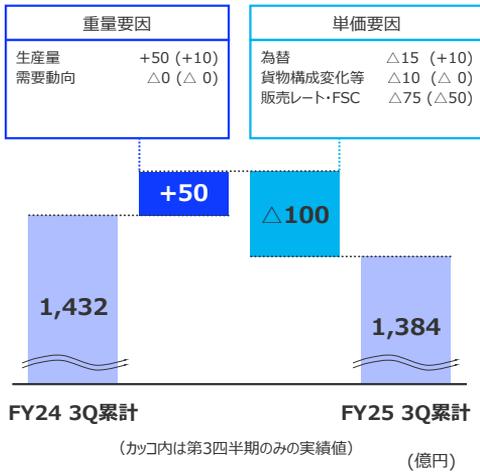
	第3四半期累計			第3四半期		
	FY2024	FY2025	前年比(%)	FY2024	FY2025	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	4,843	4,959	+ 2.4	1,678	1,688	+ 0.6
有償貨物トンキロ（百万）	2,715	2,830	+ 4.2	945	967	+ 2.3
貨物輸送重量（千トン）	532	551	+ 3.5	184	187	+ 1.7
貨物重量利用率（%）	56.1	57.1	+1.0pt*1	56.3	57.3	+1.0pt*1
貨物収入（億円）	1,432	1,384	△ 3.4	544	514	△ 5.5
ユニットレベニュー（円） （貨物収入/有効貨物トンキロ）	29.6	27.9	△ 5.6	32.5	30.5	△ 6.0
イールド（円） （貨物収入/有償貨物トンキロ）	52.8	48.9	△ 7.3	57.7	53.2	△ 7.7
重量単価（円/kg） （貨物収入/貨物輸送重量）	269	251	△ 6.6	295	274	△ 7.1

*1 貨物重量利用率のみ前年差

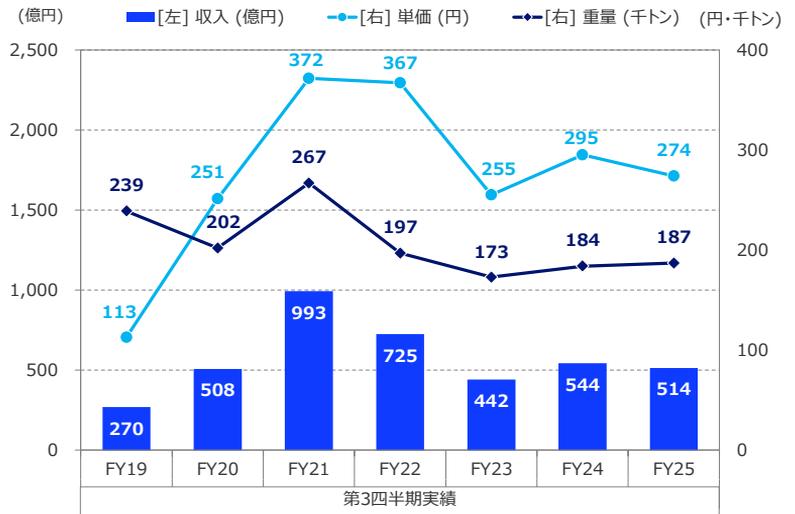
本表のデータは、P.25記載実績の内数	第3四半期累計			第3四半期		
	FY2024	FY2025	前年比(%)	FY2024	FY2025	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	1,324	1,304	△ 1.5	476	450	△ 5.6
有償貨物トンキロ（百万）	868	873	+ 0.6	314	304	△ 3.2
貨物輸送重量（千トン）	210	206	△ 2.0	73	70	△ 4.0
貨物重量利用率（%）	65.6	67.0	+1.4pt*1	66.0	67.6	+1.6pt*1
貨物収入（億円）	553	510	△ 7.7	220	191	△ 13.0
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	41.8	39.1	△ 6.3	46.3	42.6	△ 7.9
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	63.7	58.4	△ 8.3	70.2	63.1	△ 10.1
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	262	247	△ 5.9	299	271	△ 9.4

*1 貨物重量利用率のみ前年差

第3四半期累計 収入増減要因（前年差）



第3四半期（10～12月）実績推移



	第3四半期累計			第3四半期		
	FY2024	FY2025	前年比(%)	FY2024	FY2025	前年比(%)
有効貨物トンキロ (百万)	1,173	1,105	△ 5.8	392	375	△ 4.3
有償貨物トンキロ (百万)	202	200	△ 1.0	73	72	△ 1.8
貨物輸送重量 (千トン)	209	206	△ 1.8	77	74	△ 3.1
貨物重量利用率 (%)	17.3	18.1	+0.9pt*1	18.7	19.2	+0.5pt*1
貨物収入 (億円)	175	173	△ 1.0	63	64	+ 1.5
ユニットレベニュー (円) (貨物収入/有効貨物トンキロ)	15.0	15.7	+ 5.1	16.2	17.2	+ 6.1
イールド (円) (貨物収入/有償貨物トンキロ)	86.6	86.7	+ 0.1	86.4	89.3	+ 3.4
重量単価 (円/kg) (貨物収入/貨物輸送重量)	84	84	+ 0.8	82	86	+ 4.8

*1 貨物重量利用率のみ前年差

* 自社事業のみ	第3四半期累計*1			第3四半期		
	FY2024	FY2025	前年比(%)	FY2024	FY2025	前年比(%)
有効貨物トンキロ (百万)	-	2,092	-	-	1,053	-
有償貨物トンキロ (百万)	-	1,338	-	-	679	-
貨物輸送重量 (千トン)	-	217	-	-	110	-
貨物重量利用率 (%)	-	63.9	-	-	64.5	-
貨物収入 (億円)	-	753	-	-	403	-
ユニットレベニュー (円) (貨物収入/有効貨物トンキロ)	-	36.0	-	-	38.3	-
イールド (円) (貨物収入/有償貨物トンキロ)	-	56.3	-	-	59.4	-
重量単価 (円/kg) (貨物収入/貨物輸送重量)	-	347	-	-	367	-

*1 連結化後の第2四半期以降の実績

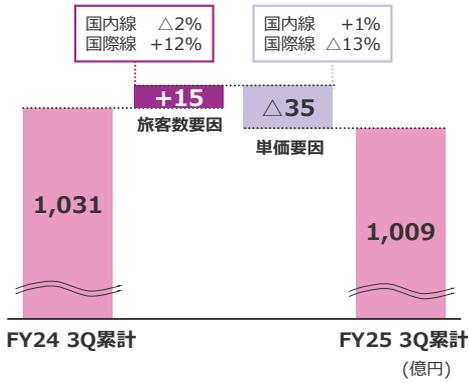
Intentionally Left Blank

	第3四半期累計			第3四半期		
	FY2024	FY2025	前年比(%)	FY2024	FY2025	前年比(%)
座席キロ (百万)	9,421	9,954	+ 5.7	3,187	3,288	+ 3.2
旅客キロ (百万)	7,996	8,297	+ 3.8	2,616	2,804	+ 7.2
旅客数 (千人)	6,880	6,990	+ 1.6	2,238	2,365	+ 5.7
座席利用率 (%)	84.9	83.4	△1.5pt*1	82.1	85.3	+3.2pt*1
売上高 (億円) *2	1,031	1,009	△ 2.2	318	352	+ 10.7
ユニットレベニュー (円) (売上高/座席キロ)	10.9	10.1	△ 7.4	10.0	10.7	+ 7.3
イールド (円) (売上高/旅客キロ)	12.9	12.2	△ 5.7	12.2	12.6	+ 3.3
単価 (円) (売上高/旅客数)	14,992	14,434	△ 3.7	14,232	14,910	+ 4.8

*1 座席利用率のみ前年差

*2 売上高に付帯収入を含む

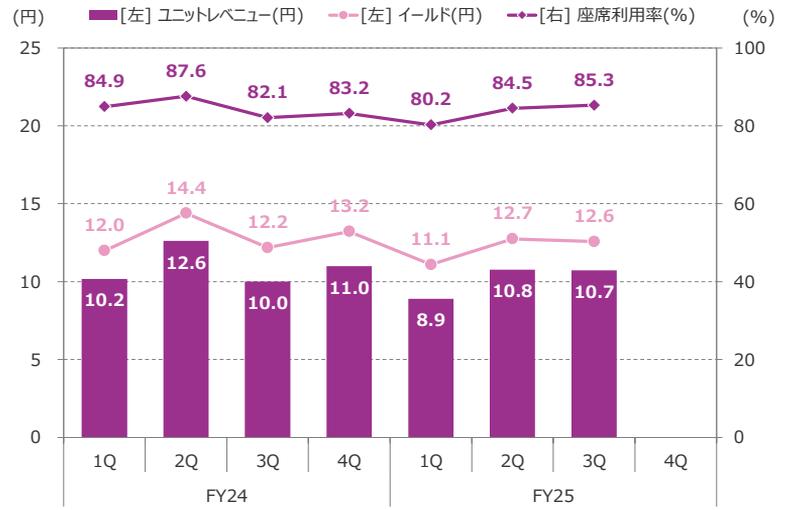
第3四半期累計 収入増減要因 (前年差)



第3四半期のトピックス

- ✓ 需要動向に応じて増減便を実施
- ✓ 中国政府による渡航自粛呼びかけの影響は限定的

四半期別 実績推移

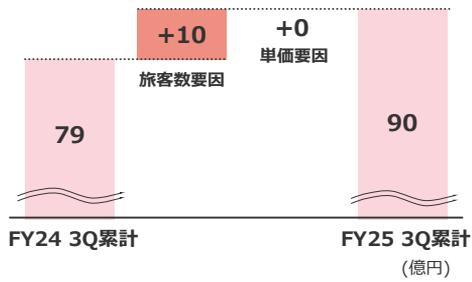


	第3四半期累計			第3四半期		
	FY2024	FY2025	前年比(%)	FY2024	FY2025	前年比(%)
座席キロ (百万)	1,627	1,700	+ 4.5	568	616	+ 8.5
旅客キロ (百万)	1,050	1,128	+ 7.4	464	465	+ 0.1
旅客数 (千人)	296	336	+ 13.5	126	138	+ 9.3
座席利用率 (%)	64.5	66.4	+1.8pt*1	81.8	75.5	△6.3pt*1
売上高 (億円) *2	79	90	+ 14.2	36	40	+ 10.1
ユニットレベニュー (円) (売上高/座席キロ)	4.9	5.3	+ 9.4	6.5	6.6	+ 1.5
イールド (円) (売上高/旅客キロ)	7.5	8.0	+ 6.3	7.9	8.7	+ 10.0
単価 (円) (売上高/旅客数)	26,693	26,871	+ 0.7	29,169	29,382	+ 0.7

*1 座席利用率のみ前年差

*2 売上高に付帯収入を含む

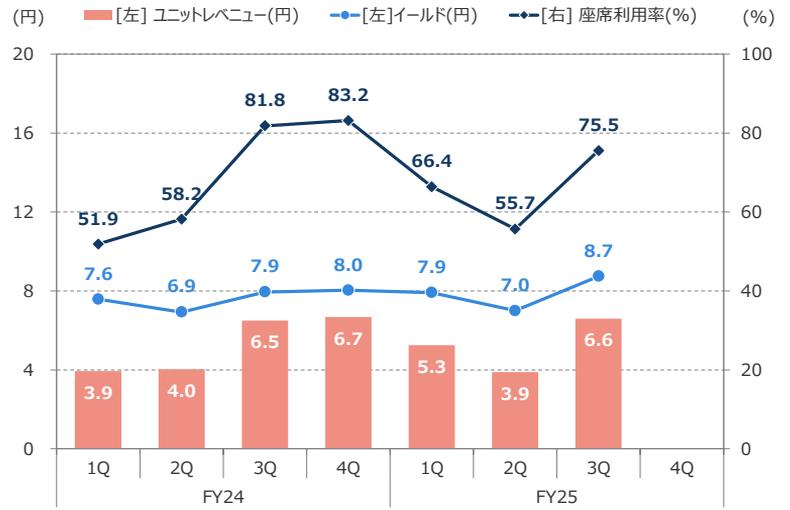
第3四半期累計 収入増減要因 (前年差)



第3四半期のトピックス

- ✓ 成田=シンガポール線を増便、旺盛な訪日需要を獲得

四半期別 実績推移



		FY2025 3Q累計	前年 同期差	FY2025 3Q	前年 同期差			FY2025 3Q累計	前年 同期差	FY2025 3Q	前年 同期差
旅客収入 (構成比)	北米	36.8	△ 2.1	34.8	△ 1.7	旅客数 (構成比)	北米	20.7	△ 1.7	19.6	△ 1.3
	欧州	20.3	+ 3.7	19.6	+ 2.0		欧州	10.2	+ 1.7	9.9	+ 0.7
	中国	6.7	△ 0.9	6.0	△ 0.0		中国	16.0	+ 0.2	15.1	+ 1.5
	アジア・オセアニア	29.7	△ 0.9	32.7	△ 0.9		アジア・オセアニア	45.3	△ 0.4	47.2	△ 1.4
	ハワイ	6.6	+ 0.3	6.9	+ 0.6		ハワイ	7.8	+ 0.1	8.3	+ 0.5
座席キロ (構成比)	北米	33.3	△ 2.0	33.0	△ 1.2	座席 利用率* (%)	北米	84.4	+ 1.4	84.3	+ 3.9
	欧州	16.5	+ 2.9	16.2	+ 1.4		欧州	83.9	+ 1.7	86.5	+ 4.3
	中国	6.1	△ 0.3	6.0	△ 0.4		中国	74.3	+ 6.8	75.3	+ 15.6
	アジア・オセアニア	35.5	+ 0.7	35.8	+ 0.7		アジア・オセアニア	80.9	+ 2.5	87.9	+ 3.4
	ハワイ	8.7	△ 1.3	9.1	△ 0.6		ハワイ	79.3	+ 14.2	83.5	+ 15.3
旅客キロ (構成比)	北米	34.2	△ 3.0	32.5	△ 2.0	* 座席利用率のみ実数、前年差はpt					
	欧州	16.8	+ 2.7	16.4	+ 1.2						
	中国	5.6	+ 0.0	5.3	+ 0.5						
	アジア・オセアニア	35.0	+ 0.2	36.9	△ 0.3						
	ハワイ	8.4	+ 0.1	8.9	+ 0.6						

	ANA				NCA*1				
	FY2025 3Q累計	前年 同期差	FY2025 3Q	前年 同期差	FY2025 3Q累計*2	前年 同期差	FY2025 3Q	前年 同期差	
貨物収入 (構成比)	北米（ハワイを含む）	49.3	△ 2.2	49.5	△ 4.7	60.0	-	59.8	-
	欧州	9.2	+ 1.0	9.4	+ 1.2	13.9	-	14.6	-
	中国	18.1	△ 1.6	18.4	+ 0.1	17.9	-	18.2	-
	アジア・オセアニア	21.9	+ 2.8	21.2	+ 3.3	8.0	-	7.4	-
	その他	1.6	+ 0.1	1.5	+ 0.2	0.2	-	0.0	-
有効貨物 トンキロ (構成比)	北米（ハワイを含む）	47.8	△ 2.0	47.6	△ 2.3	58.9	-	58.7	-
	欧州	10.4	+ 2.6	10.9	+ 2.3	15.5	-	16.5	-
	中国	12.8	△ 1.9	12.5	△ 1.9	17.2	-	17.3	-
	アジア・オセアニア	28.6	+ 1.2	28.7	+ 2.0	8.2	-	7.6	-
	その他	0.4	+ 0.0	0.4	+ 0.0	0.1	-	0.0	-
有償貨物 トンキロ (構成比)	北米（ハワイを含む）	48.3	△ 2.5	47.8	△ 2.3	57.8	-	56.9	-
	欧州	12.3	+ 2.1	12.7	+ 1.3	19.3	-	20.6	-
	中国	12.5	△ 1.3	12.5	△ 1.4	15.1	-	15.1	-
	アジア・オセアニア	26.3	+ 1.7	26.4	+ 2.3	7.8	-	7.4	-
	その他	0.7	△ 0.0	0.7	+ 0.0	0.0	-	0.0	-

*1 自社事業のみ

*2 連結化後の第2四半期以降の実績

	ANA				NCA*1				
	FY2025 3Q累計	前年 同期差	FY2025 3Q	前年 同期差	FY2025 3Q累計*2	前年 同期差	FY2025 3Q	前年 同期差	
貨物重量 (構成比)	北米（ハワイを含む）	26.4	△ 1.2	26.2	△ 1.0	36.8	-	36.6	-
	欧州	6.7	+ 1.3	6.9	+ 0.8	10.3	-	11.1	-
	中国	29.4	△ 2.7	29.5	△ 2.9	40.5	-	40.6	-
	アジア・オセアニア	31.3	+ 2.4	31.5	+ 3.0	12.4	-	11.7	-
	その他	6.2	+ 0.2	5.9	+ 0.0	-	-	-	-
貨物重量 利用率*3 (%)	北米（ハワイを含む）	57.6	+ 0.4	57.5	+ 1.1	62.7	-	62.5	-
	欧州	67.5	△ 5.4	66.7	△ 7.3	79.5	-	80.6	-
	中国	55.8	+ 2.9	57.4	+ 3.0	56.1	-	56.4	-
	アジア・オセアニア	52.4	+ 2.2	52.7	+ 2.0	61.1	-	63.2	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-

*1 自社事業のみ

*2 連結化後の第2四半期以降の実績

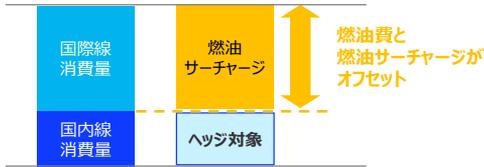
*3 貨物重量利用率のみ実数、前年差はpt

Intentionally Left Blank

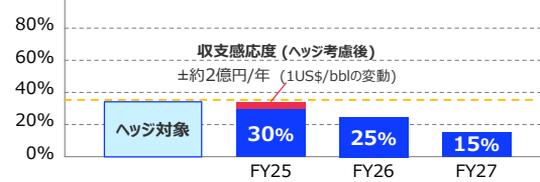
1. 燃油ヘッジ

■ヘッジ方針

- 1) 国内線消費量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)
- 2) 国際線消費量は原則としてヘッジ対象外 (燃油サーチャージで対応)



総消費量に対するヘッジ率 (2025年12月末現在)



燃油市況	FY24 3Q累計実績	FY25 3Q累計実績	FY25 下期前提
ドバイ原油 (US\$/bbl)	80.3	68.2	75
シンガポールケロシン (US\$/bbl)	94.4	85.4	90

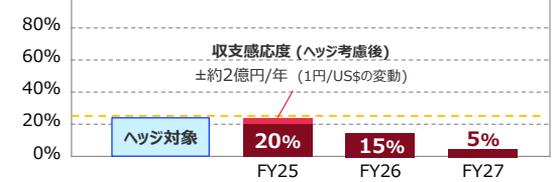
2. 為替ヘッジ

■ヘッジ方針

- 1) 不足する外貨量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)



全外貨費用に対するヘッジ率 (2025年12月末現在)



為替市況	FY24 3Q累計実績	FY25 3Q累計実績	FY25 下期前提
ドル円レート (円/US\$)	152.3	148.1	150

	座席数	FY2024 期末	FY2025 第3四半期末	前年度 期末差	保有機数	リース機数
Airbus A380-800	520	3	3	-	3	-
Boeing 777-300/-300ER	212・514	18	17	△ 1	8	9
Boeing 777-200/-200ER	392・405	10	10	-	10	-
Boeing 777-F	-	2	2	-	2	-
Boeing 787-10	294・429	8	10	+ 2	9	1
Boeing 787-9	215~395	44	44	-	38	6
Boeing 787-8	184~335	34	33	△ 1	30	3
Boeing 767-300ER	202・270	15	15	-	15	-
Boeing 767-300F/-300BCF	-	6	6	-	3	3
Airbus A321-200neo	194	22	22	-	-	22
Airbus A321-200	194	4	4	-	-	4
Airbus A320-200neo	146	11	11	-	11	-
Boeing 737-800	166	39	39	-	26	13
De Havilland Canada DASH 8-400	74	24	24	-	24	-
ANA 計	-	240	240	-	179	61
Boeing 747-8F	-	-	8	+ 8	8	-
Boeing 747-400F *1	-	-	7	+ 7	7	-
NCA 計	-	-	15	+ 15	15	-
Airbus A321-200neoLR	218	3	3	-	-	3
Airbus A320-200neo	188	17	21	+ 4	2	19
Airbus A320-200	180	16	14	△ 2	-	14
Peach Aviation 計	-	36	38	+ 2	2	36
Boeing 787-8	324	2	3	+ 1	3	-
AirJapan 計	-	2	3	+ 1	3	-
グループ 計	-	278	296	+ 18	199	97

(億円)	第3四半期累計			第3四半期			
	FY2024	FY2025	前年差	FY2024	FY2025	前年差	
航空関連 事業	売上高	2,432	2,657	+ 225	858	918	+ 60
	営業利益	37	92	+ 54	7	52	+ 45
	営業利益率 (%)	1.6	3.5	+ 1.9pt	0.9	5.7	+ 4.9pt
旅行 事業	売上高	549	499	△ 49	183	161	△ 21
	営業利益	△ 1	6	+ 7	5	3	△ 1
	営業利益率 (%)	-	1.3	-	2.9	2.1	△ 0.8pt
商社 事業	売上高	975	1,174	+ 198	333	444	+ 110
	営業利益	39	62	+ 22	12	26	+ 13
	営業利益率 (%)	4.0	5.3	+ 1.3pt	3.8	5.9	+ 2.2pt
その他	売上高	321	357	+ 36	112	127	+ 14
	営業利益	10	20	+ 9	5	6	+ 1
	営業利益率 (%)	3.4	5.8	+ 2.4pt	4.8	5.4	+ 0.6pt

グループ経営理念	安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します
グループ安全理念	<p>安全は経営の基盤であり社会への責務である 私たちはお互いの理解と信頼のもと確かなしくみで安全を高めています 私たちは一人ひとりの責任ある誠実な行動により安全を追求します</p>
グループ経営ビジョン	<p style="text-align: center;">ワクワクで満たされる世界を</p> <p>私たちは、空からはじまる多様なつながりを創り、 社員・お客様・社会の可能性を広げていきます。</p>
グループ行動指針 (ANA's Way)	<p>私たちは「あんしん、あったか、あかるく元気！」に、次のように行動します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全 (Safety) 安全こそ経営の基盤、守り続けます。 2. お客様視点 (Customer Orientation) 常にお客様の視点に立って、最高の価値を生み出します。 3. 社会への責任 (Social Responsibility) 誠実かつ公正に、より良い社会に貢献します。 4. チームスピリット (Team Spirit) 多様性を活かし、真摯に議論し一致して行動します。 5. 努力と挑戦 (Endeavor) グローバルな視野を持って、ひたむきに努力し枠を超えて挑戦します。

免責事項

当資料には、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社グループの主要事業である航空事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、感染症の継続・拡大、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

当資料はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ana.co.jp/group/investors>

株主・投資家情報 ➡ I R 資料室 ➡ 決算説明会資料

ANAホールディングス(株) グループ経理・財務室 財務企画・I R部

Eメール : ir@anahd.co.jp